



2023年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年7月31日

上場会社名 ナブテスコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6268 URL <https://www.nabtesco.com>
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 木村 和正
 問合せ先責任者（役職名） コーポレート・コミュニケーション部長（氏名） 峯岸 康（TEL）03-5213-1134
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 2023年8月31日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（表示単位未満四捨五入）

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	162,997	14.6	8,690	10.2	15,485	—	10,266	—	9,452	—	17,226	192.6
2022年12月期第2四半期	142,195	△2.4	7,886	△46.0	△5,674	—	△4,248	—	△5,106	—	5,887	△92.0
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭	
2023年12月期第2四半期	78.74		78.74		78.74		78.74		78.74		78.74	
2022年12月期第2四半期	△42.56		△42.56		△42.56		△42.56		△42.56		△42.56	

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	425,466	274,421	259,963	61.1
2022年12月期	459,293	263,228	248,696	54.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	39.00	—	39.00	78.00
2023年12月期	—	40.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	6.9	19,000	5.0	27,000	71.3	17,800	88.1	148.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

上記の連結業績予想における「税引前利益」及び「親会社の所有者に帰属する当期利益」の対前年同期増減率が「営業利益」の増減率と比較して大幅に変動しているのは、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの株式において、2022年12月末での株価に基づく評価損を2022年12月期に計上したこと、及び2023年6月に同株式の売却完了に伴う評価益等を計上したことによります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	121,064,099株	2022年12月期	121,064,099株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	1,024,683株	2022年12月期	1,058,550株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	120,031,162株	2022年12月期2Q	119,990,894株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
3. 補足情報	17
(1) セグメント別受注残高	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、精密減速機においてEV関連への設備投資による大型産業用ロボット向けの高い需要が継続したことに加え、航空機器での需要が順調に回復し、船用機器でも需要が好調であったことから、売上高は162,997百万円、営業利益は8,690百万円となりました。また、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ（以下、「ハーモニック社」という）株式の売却完了に伴う評価益等を計上したことにより、税引前四半期利益は15,485百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は9,452百万円となりました。

① 受注高、売上高、営業利益

当第2四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比2,275百万円（1.3%）増加し172,261百万円となりました。売上高は、同20,802百万円（14.6%）増加し162,997百万円となり、営業利益は、同804百万円（10.2%）増加し8,690百万円となりました。売上高営業利益率は5.3%となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

【受注高】

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	75,299	65,276	△13.3
トランスポートソリューション事業	37,011	46,362	25.3
アクセシビリティソリューション事業	47,345	50,565	6.8
その他	10,331	10,058	△2.6
合計	169,986	172,261	1.3

【売上高】

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	64,722	74,785	15.5
トランスポートソリューション事業	31,124	36,171	16.2
アクセシビリティソリューション事業	39,548	44,347	12.1
その他	6,801	7,694	13.1
合計	142,195	162,997	14.6

【営業利益】

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	7,204	7,394	2.6
トランスポートソリューション事業	2,012	3,651	81.5
アクセシビリティソリューション事業	2,829	2,435	△13.9
その他	67	422	530.5
全社または消去	△4,225	△5,211	—
合計	7,886	8,690	10.2

【コンポーネントソリューション事業】

コンポーネントソリューション事業の受注高は、前年同期比10,023百万円(△13.3%)減少し65,276百万円となりました。売上高は、同10,063百万円(15.5%)増加し74,785百万円、営業利益は、同190百万円(2.6%)増加し7,394百万円となりました。

精密減速機は、EV関連への高い設備需要が継続し、特に大型の産業用ロボット向け需要が好調であったことから、売上高は前年同期比で増加となりました。

建設機械向け油圧機器は、中国市場において需要低迷が続いたものの、欧米、東南アジア市場での需要が堅調に推移し、売上高は前年同期並みとなりました。

【トランスポートソリューション事業】

トランスポートソリューション事業の受注高は、前年同期比9,351百万円(25.3%)増加し46,362百万円となりました。売上高は、同5,047百万円(16.2%)増加し36,171百万円、営業利益は、同1,640百万円(81.5%)増加し3,651百万円となりました。

鉄道車両用機器は、MRO(Maintenance, Repair, Overhaul)は堅調に推移したものの、国内市場で新車向け投資の抑制が継続し、売上高は前年同期比で減少となりました。

航空機器は、防衛省向け及び民間航空機向けともに需要が順調に回復し、売上高は前年同期比で大幅な増加となりました。

商用車用機器は、国内における顧客の減産影響が軽微となったことに加え、東南アジア向け需要が堅調であったことから、売上高は前年同期比で増加となりました。

船用機器は、国内外ともに新造船向けに加えMROでも高い需要が継続し、売上高は前年同期比で大幅な増加となりました。

【アクセシビリティソリューション事業】

アクセシビリティソリューション事業の受注高は、前年同期比3,220百万円(6.8%)増加し50,565百万円となりました。売上高は、同4,799百万円(12.1%)増加し44,347百万円、営業利益は、同394百万円(△13.9%)減少し2,435百万円となりました。

自動ドア事業は、国内外の建物用ドア需要が堅調に推移したことに加え、為替及びフランスでの販売会社の買収効果により売上高は前年同期比で増加となりました。

【その他】

その他の受注高は、前年同期比273百万円(△2.6%)減少し10,058百万円となりました。売上高は、同893百万円(13.1%)増加し7,694百万円、営業利益は、同355百万円(530.5%)増加し422百万円となりました。

包装機は、電子部品不足が一部解消されたことにより、売上高は前年同期比で増加となりました。

(参考) 地域ごとの情報

【売上高】

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)	増減率(%)
日本	77,021	86,900	12.8
中国	21,940	25,137	14.6
その他アジア	9,453	9,616	1.7
北米	9,834	12,408	26.2
ヨーロッパ	21,807	28,109	28.9
その他地域	2,140	827	△61.3
合計	142,195	162,997	14.6

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

② 税引前四半期利益

金融収益は、ハーモニック社株式の売却完了に伴う評価益3,485百万円、及び為替差益等を計上したことにより5,023百万円となりました。金融費用は、デリバティブ評価損等を計上したことにより518百万円となりました。持分法による投資利益は2,289百万円となりました。その結果、税引前四半期利益は前年同期比21,159百万円増加し、15,485百万円となりました。

③ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

以上の結果、法人所得税費用5,219百万円、及び非支配持分に帰属する四半期利益815百万円を差引いた親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比14,558百万円増加し、9,452百万円となりました。

また、基本的1株当たり四半期利益は同121.30円増加し、78.74円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2022年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2023年6月30日)	増減額
資産	459,293	425,466	△33,826
負債	196,064	151,045	△45,019
資本	263,228	274,421	11,193

【資産】

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は245,377百万円、非流動資産は180,089百万円であり、その結果、資産合計は425,466百万円と前連結会計年度末比33,826百万円の減少となりました。主な増加要因は、棚卸資産の増加11,224百万円、有形固定資産の増加5,174百万円、及びのれんの増加5,674百万円です。主な減少要因は、現金及び現金同等物の減少20,727百万円、営業債権の減少6,677百万円、及びハーモニック社株式の売却完了による売却目的で保有する資産の減少34,030百万円です。

【負債】

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は126,624百万円、非流動負債は24,421百万円であり、その結果、負債合計は151,045百万円と前連結会計年度末比45,019百万円の減少となりました。主な増加要因は、営業債務の増加4,575百万円です。主な減少要因は、ハーモニック社株式の売却完了等によるその他の金融負債の減少47,177百万円、未払法人所得税の減少7,791百万円です。

【資本】

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は274,421百万円となりました。親会社の所有者に帰属する持分合計は259,963百万円と前連結会計年度末比11,267百万円の増加となりました。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益9,452百万円、及び在外営業活動体の換算差額等によるその他の資本の構成要素の増加6,372百万円です。主な減少要因は、配当による利益剰余金の減少4,693百万円です。

② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,096	11,637
投資活動によるキャッシュ・フロー	△901	△27,772
フリーキャッシュ・フロー	196	△16,136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,297	△6,906

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、営業活動により獲得した資金を、主に設備投資、子会社の取得、ハーモニック社株式の売却に係る支出、及び配当金の支払に充てた結果、103,686百万円と前連結会計年度末比20,727百万円の減少となりました。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは11,637百万円の資金の増加となりました。主な増加要因は、四半期利益、減価償却費及び償却費等の非資金損益項目、及び営業債権の減少によるものです。主な減少要因は、棚卸資産の増加、及び法人所得税の支払によるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは27,772百万円の資金の減少となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出、及びハーモニック社株式の売却に係る支出(投資有価証券の売却価格の精算による支出)です。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは6,906百万円の資金の減少となりました。主な減少要因は、配当金の支払です。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2023年12月期第2四半期連結累計期間の業績及び今後の動向等を踏まえ、2023年2月10日に公表しました2023年12月期通期の業績予想を修正することとしました。

詳細につきましては、2023年7月31日発表の「2023年12月期 第2四半期累計期間の個別業績予想値と実績値の差異並びに同通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2023年2月10日に公表しました連結業績予想との差異は以下のとおりです。

2023年12月期通期 連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A) (2023年2月10日発表)	339,000	26,200	29,200	19,500	162	50
今回修正予想(B)	330,000	19,000	27,000	17,800	148	30
増減額 (B-A)	△9,000	△7,200	△2,200	△1,700	—	—
増減率 (%)	△2.7	△27.5	△7.5	△8.7	—	—
(ご参考) 前期実績	308,691	18,097	15,763	9,464	78	87

(セグメント情報)

① 売上高

(単位：百万円)

	コンポーネント ソリューション	トランスポート ソリューション	アクセシビリティ ソリューション	その他	全社又は消去	計
前回発表予想(A) (2023年2月10日発表)	154,800	77,800	85,300	21,100	—	339,000
今回修正予想(B)	142,600	78,700	90,200	18,500	—	330,000
増減額 (B-A)	△12,200	900	4,900	△2,600	—	△9,000
増減率 (%)	△7.9	1.2	5.7	△12.3	—	△2.7
(ご参考) 前期実績	140,629	70,950	78,561	18,551	—	308,691

② 営業利益

(単位：百万円)

	コンポーネント ソリューション	トランスポート ソリューション	アクセシビリティ ソリューション	その他	全社又は消去	計
前回発表予想(A) (2023年2月10日発表)	19,600	7,600	7,500	2,400	△10,900	26,200
今回修正予想(B)	12,800	7,300	7,500	2,500	△11,100	19,000
増減額 (B-A)	△6,800	△300	—	100	△200	△7,200
増減率 (%)	△34.7	△3.9	—	4.2	—	△27.5
(ご参考) 前期実績	15,919	6,714	2,830	1,484	△8,850	18,097

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		124,413	103,686
営業債権		77,227	70,550
契約資産		2,165	2,827
その他の債権		1,301	1,159
棚卸資産		49,210	60,434
その他の金融資産		1,733	1,528
その他の流動資産		5,445	5,192
小計		261,494	245,377
売却目的で保有する資産		34,030	—
流動資産合計		295,524	245,377
非流動資産			
有形固定資産		96,082	101,256
無形資産		6,373	9,639
使用権資産		10,129	9,350
のれん		17,899	23,573
投資不動産		2,066	1,716
持分法で会計処理されている投資		17,729	19,239
その他の金融資産		10,041	11,843
繰延税金資産		2,281	2,405
その他の非流動資産		1,168	1,069
非流動資産合計		163,768	180,089
資産合計		459,293	425,466

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務		56,119	60,694
契約負債		7,652	9,546
借入金		19,943	22,438
その他の債務		19,250	18,162
未払法人所得税		11,734	3,944
引当金		1,678	2,206
リース負債		2,640	2,701
その他の金融負債		47,267	90
その他の流動負債		6,292	6,845
流動負債合計		172,577	126,624
非流動負債			
借入金		366	260
リース負債		8,403	7,747
退職給付に係る負債		8,472	8,812
繰延税金負債		4,054	5,090
その他の金融負債		—	295
その他の非流動負債		2,193	2,216
非流動負債合計		23,488	24,421
負債合計		196,064	151,045
資本			
資本金		10,000	10,000
資本剰余金		15,048	15,058
利益剰余金		215,670	220,413
自己株式		△4,646	△4,504
その他の資本の構成要素		12,624	18,997
親会社の所有者に帰属する持分合計		248,696	259,963
非支配持分		14,532	14,458
資本合計		263,228	274,421
負債及び資本合計		459,293	425,466

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2	142,195	162,997
売上原価		△106,668	△122,481
売上総利益		35,527	40,516
その他の収益		615	487
販売費及び一般管理費		△28,121	△31,989
その他の費用		△135	△324
営業利益	2	7,886	8,690
金融収益		1,959	5,023
金融費用		△16,658	△518
持分法による投資利益		1,139	2,289
税引前四半期利益又は損失(△)		△5,674	15,485
法人所得税費用		1,426	△5,219
四半期利益又は損失(△)		△4,248	10,266
四半期利益又は損失(△)の帰属 親会社の所有者		△5,106	9,452
非支配持分		858	815
四半期利益又は損失(△)		△4,248	10,266
1株当たり四半期利益又は損失(△)			
基本的1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)		△42.56	78.74
希薄化後1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)		△42.56	78.74

要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益又は損失(△)		△4,248	10,266
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動		130	748
純損益に振り替えられることのない 項目合計		130	748
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		10,005	6,212
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計		10,005	6,212
税引後その他の包括利益合計		10,135	6,960
四半期包括利益合計		5,887	17,226
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		3,699	15,824
非支配持分		2,188	1,402
四半期包括利益合計		5,887	17,226

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2022年1月1日残高		10,000	14,961	214,791	△4,784	1,874	3,069
四半期損失(△)		—	—	△5,106	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	8,682	123
四半期包括利益合計		—	—	△5,106	—	8,682	123
自己株式の取得及び処分等		—	—	△10	139	—	—
配当金		—	—	△4,692	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	10	—	—	△10
株式報酬取引		—	△13	—	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△13	△4,693	139	—	△10
2022年6月30日残高		10,000	14,948	204,992	△4,645	10,556	3,182

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2022年1月1日残高		—	4,942	239,910	15,084	254,995
四半期損失(△)		—	—	△5,106	858	△4,248
その他の包括利益		—	8,805	8,805	1,330	10,135
四半期包括利益合計		—	8,805	3,699	2,188	5,887
自己株式の取得及び処分等		—	—	128	—	128
配当金		—	—	△4,692	△3,018	△7,711
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	△10	—	—	—
株式報酬取引		—	—	△13	—	△13
所有者との取引額等合計		—	△10	△4,577	△3,018	△7,595
2022年6月30日残高		—	13,738	239,033	14,254	253,287

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2023年1月1日残高		10,000	15,048	215,670	△4,646	9,361	3,263
四半期利益		—	—	9,452	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	5,630	742
四半期包括利益合計		—	—	9,452	—	5,630	742
自己株式の取得及び処分等		—	—	△16	143	—	—
配当金		—	—	△4,693	—	—	—
株式報酬取引		—	9	—	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	9	△4,708	143	—	—
2023年6月30日残高		10,000	15,058	220,413	△4,504	14,992	4,005

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2023年1月1日残高		—	12,624	248,696	14,532	263,228
四半期利益		—	—	9,452	815	10,266
その他の包括利益		—	6,372	6,372	588	6,960
四半期包括利益合計		—	6,372	15,824	1,402	17,226
自己株式の取得及び処分等		—	—	127	—	127
配当金		—	—	△4,693	△1,477	△6,170
株式報酬取引		—	—	9	—	9
所有者との取引額等合計		—	—	△4,557	△1,477	△6,034
2023年6月30日残高		—	18,997	259,963	14,458	274,421

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	注記 番号	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
四半期利益又は損失(△)		△4,248	10,266
減価償却費及び償却費		7,098	7,424
退職給付に係る資産及び負債の増減額		12	319
受取利息及び受取配当金		△358	△198
支払利息		78	222
投資有価証券評価損益(△は益)		16,566	△3,554
持分法による投資損益(△は益)		△1,139	△2,289
固定資産除売却損益(△は益)		△0	161
法人所得税費用		△1,426	5,219
営業債権、契約資産及び契約負債の増減額		14,630	10,858
棚卸資産の増減額(△は増加)		△8,370	△8,448
営業債務の増減額(△は減少)		△1,012	2,379
その他		△282	1,477
小計		21,548	23,835
利息及び配当金の受取額		1,021	1,033
利息の支払額		△81	△206
法人所得税の支払額		△21,393	△13,025
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,096	11,637
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の増減額(△は増加)		391	430
有形固定資産の取得による支出		△4,678	△11,807
有形固定資産の売却による収入		48	187
無形資産の取得による支出		△1,156	△1,270
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出		—	△5,282
投資有価証券の売却による収入		14	—
投資有価証券の売却価格の精算による支出		—	△9,752
敷金及び保証金の差入による支出		△60	—
敷金及び保証金の回収による収入		4,628	106
その他		△87	△384
投資活動によるキャッシュ・フロー		△901	△27,772
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		△1,122	859
長期借入金の返済		△118	△118
リース負債の支払額		△1,385	△1,479
自己株式の純増減額(△は増加)		35	△1
配当金の支払額		△4,689	△4,690
非支配持分への配当金の支払額		△3,018	△1,477
財務活動によるキャッシュ・フロー		△10,297	△6,906
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△10,101	△23,041
現金及び現金同等物の期首残高		112,771	124,413
現金及び現金同等物に係る換算差額		4,017	2,314
現金及び現金同等物の四半期末残高		106,687	103,686

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 事業セグメント

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ビジネスモデルの類似性に基づき、事業セグメントを集約した上で、「コンポーネントソリューション事業」、「トランスポートソリューション事業」、「アクセシビリティソリューション事業」の3報告セグメントに区分しています。

各報告セグメントの区分に属する主な事業内容は以下のとおりです。

事業区分	主な事業内容
コンポーネントソリューション事業	産業用ロボット部品、建設機械用機器等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
トランスポートソリューション事業	鉄道車両用ブレーキ装置・自動扉装置、航空機部品、自動車用ブレーキ装置・駆動制御装置、船用制御装置等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
アクセシビリティソリューション事業	建物及び一般産業用自動扉装置、プラットフォーム安全設備等及びこれらの部品の設計、製造、販売、据付、保守、修理

(2) 報告セグメントに関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期連結損益計算書計上額
	コンポーネント	トランスポート	アクセシビリティ	計				
売上高								
外部売上高	64,722	31,124	39,548	135,394	6,801	142,195	—	142,195
セグメント間売上高	1,255	594	2	1,850	150	2,000	△2,000	—
売上高合計	65,977	31,718	39,550	137,245	6,950	144,195	△2,000	142,195
セグメント利益(営業利益)	7,204	2,012	2,829	12,044	67	12,111	△4,225	7,886
金融収益				—				1,959
金融費用				—				△16,658
持分法による投資利益				—				1,139
税引前四半期損失				—				△5,674

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益(営業利益)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	74,785	36,171	44,347	155,303	7,694	162,997	—	162,997
セグメント間売上高	1,419	850	6	2,275	191	2,466	△2,466	—
売上高合計	76,204	37,021	44,354	157,578	7,885	165,463	△2,466	162,997
セグメント利益 (営業利益)	7,394	3,651	2,435	13,480	422	13,901	△5,211	8,690
金融収益				—				5,023
金融費用				—				△518
持分法による投資利益				—				2,289
税引前四半期利益				—				15,485

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益(営業利益)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

3. 重要な後発事象

(R. K. DEEP SEA TECHNOLOGIES LIMITEDの株式取得)

当社は、2023年7月14日付でAIを活用したソリューションを提供するギリシャの事業会社であるDeep Sea Technologies SMPC（以下、「Deep Sea社」という）の100%親会社である、キプロスのR. K. DEEP SEA TECHNOLOGIES LIMITEDの発行済株式の85%を追加取得し、当社の完全子会社としました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	R. K. DEEP SEA TECHNOLOGIES LIMITED
事業の内容	ギリシャの事業会社であるDeep Sea Technologies SMPC を通じてAIを活用した最適航路選定や状態監視等の船舶向けのソリューションサービスの提供

② 企業結合の主な理由

当社グループは2021年7月にコーポレート・ベンチャー・キャピタルである、Nabtesco Technology Ventures L.P.を通じてDeep Sea社に出資し、業界をリードする「船舶の状態監視 (Cassandra)」及び「船舶最適航路選定 (Pythia)」の船舶向けソリューションサービスを2022年から日本、中国、韓国で販売開始するとともに、船舶用制御システムの制御アルゴリズムの共同開発を同社と進めてきました。

今回の買収を通じて、同社が持つ世界最先端のAI技術による最適な航路・船速提案と当社の船用エンジン制御システムを組み合わせることにより、海運業界におけるDX化や船舶向けソリューションサービスの開発と販売をより強力に推進していきます。さらに、AIに基づく数値モデル化技術を活用した最適運航制御アルゴリズムを活用し、船舶の自律運航と省燃費の実現に貢献していきます。

買収後もDeep Sea社は、ギリシャのアテネを拠点として存続し、当社グループ全体のAI研究開発センターとしても活動していきます。AI / IoTのスペシャリストやシステムエンジニア等DX人材を当社に迎えることにより、当社グループの最適制御や状態監視等のアプリケーション開発能力を高め、各事業分野におけるシステム化やDX化を加速させ、新たなイノベーションの創出を通して、お客さまへさらなる高付加価値製品の提供を目指します。

③ 被取得企業の支配の獲得方法

現金を対価とする株式の取得

④ 取得日

2023年7月14日

⑤ 取得した議決権比率

企業結合前の議決権比率	15%
追加取得した議決権比率	85%
企業結合後の議決権比率	100%

(2) 取得対価及びその内訳

取得日直前に保有していた資本持分の公正価値	約8百万ユーロ
現金	約42百万ユーロ
取得対価合計	約50百万ユーロ

上記の取得対価以外、契約上は約2百万ユーロの条件付対価が含まれています。なお、この条件付対価の公正価値は算定中のため、記載を省略しています。

(3) 取得関連費用

取得関連費用は約70百万円であり、連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に計上する予定です。

(4) その他

現時点において、当該企業結合に関する会計処理が完了していないため、取得した資産及び引き受けた負債の公正価値並びにその主な内訳、のれん及び業績に与える影響等について詳細な情報は記載していません。

3. 補足情報

(1) セグメント別受注残高

セグメントの名称	前第2四半期連結会計期間末 (2022年6月30日)		当第2四半期連結会計期間末 (2023年6月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
コンポーネントソリューション事業	44,837	27.5	30,992	18.7
トランスポートソリューション事業	58,027	35.6	69,856	42.2
アクセシビリティソリューション事業	46,333	28.4	53,032	32.1
その他	13,664	8.5	11,460	7.0
合計	162,861	100.0	165,341	100.0